

地域・校区の概要（令和４年度）

1 天草市五和町の概況

昭和３０年５月１日、「和をもって貴しとなす」の精神が古くから根付き、御領・鬼池・二江・手野・城河原の５ヶ町村が合併し、五和町として発足した。本町は、熊本県の南西部、天草下島の北東部に位置し、東は有明海をはさんで九州本土に接し、西は苓北町と隣接、北は早崎瀬戸を隔てて長崎島原半島と相対している。

平成１８年３月２７日、平成の大合併により２市８町が合併し、天草市となったが、町は雲仙阿蘇並びに霧島国立公園を結ぶ観光ルートとして、また天草空港の所在地として重要性が高まっている。

御領地区は国道に面し、天草市五和支所、五和町コミュニティセンター、五和町給食センター、御領駐在所などがあり、公的な要衝に位置している。鬼池、二江地区は、イルカウォッチングや漁業が盛んで、手野、城河原地区は、水田、畑からなる自然に恵まれた農村地帯である。近年、高齢化が加速し６５歳以上の占める割合も半数近くになっている。

○面積：５０．０８ｋｍ^２

○人口：７，２１７人（男：３，４０５人、女：３，８１２人）

○世帯数：３，３８３世帯

（令和４年５月３１日現在）

2 校区の概要

学校規模適正化の動きにより、平成２４年度に御領小学校と鬼池小学校が統合して、御領鬼池小学校となった。また、同じくして五和東中学校も五和西中学校と統合して五和中学校になった。さらに平成２６年度からは、御領鬼池小学校、城河原小学校、手野小学校、二江小学校の４校が統合して五和小学校が開校し、五和町は１小学校１中学校になった。

本校は、児童数２７１名（男子１４８名、女子１２３名）１５学級の編制（全学年２学級、特別支援学級３学級：情緒障害１、知的障害１、病気虚弱１）である。統合時に比べると、児童数は減少の傾向にある。

五和小中学校は、天草市で初の校舎併設（２階図書室で繋がっている構造）の小中連携推進校である。旧小学校５校区（統合時は４校区）が統合したため、校区は拡大し、通学バスの運行を行っている。校区が広いため、通学バスは７台運行している。鬼池地区の児童は、引坂地区を除き全員徒歩通学であるが、国道２６６号線は車輛の通行量も多く、各地区の主要交差点では保護者、地域の方が交通指導に当たっている。通学バス通学、徒歩通学共に家庭、地域と連携を密にした安全指導を心がけている。

保護者や地域住民の学校に寄せる期待は大きい。地域ぐるみで子どもを育もうという風土があり、地域の環境整備や子どもの安全確保に熱心な取組が行われている。学校教育に大変協力的である。